

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本文学講読V</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部日文1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">岡崎 昌宏</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">志賀直哉と辻邦生の短篇を読む</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>まず志賀直哉の代表的短篇「范の犯罪」と「城の崎にて」を、時間をかけて読む。次に、最近全集の刊行が完結し、展覧会も開催されるなど、今注目が集まっている辻邦生の、初期のごく短い小説をいくつか読む。活動時期のずれている両作家の作品は、「運命」という言葉に注目してみると、興味深い比較ができ、また意外なつながりも見えてくる可能性がある。ともかく、まずは2人の作家について知り、またその小説をじっくり読むことを通して、その魅力を確認したい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>講義への出席状況、レポート課題等により総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>講義中に配布するプリントを用いる。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて講義中に随時紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>各回の講義内容は概ね以下を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス (1)・・・志賀直哉とその文学について。</li> <li>2. 志賀直哉「范の犯罪」を読む (1)・・・「范の犯罪」について。座長と助手の発言。</li> <li>3. 志賀直哉「范の犯罪」を読む (2)・・・范の発言。</li> <li>4. 志賀直哉「范の犯罪」を読む (3)・・・裁判官と范との関わり。「范の犯罪」まとめ。</li> <li>5. 志賀直哉「城の崎にて」を読む (1)・・・「城の崎にて」について。蜂の死。</li> <li>6. 志賀直哉「城の崎にて」を読む (2)・・・鼠と「自分」。イモリの死。</li> <li>7. 志賀直哉「城の崎にて」を読む (3)・・・「城の崎にて」まとめ。</li> <li>8. 「范の犯罪」と「城の崎にて」・・・両作品の関わりについて。</li> <li>9. ガイダンス (2)・・・辻邦生とその文学について。</li> <li>10. 辻邦生「旅の終り」を読む (1)・・・「旅の終り」について。小説の前半。</li> <li>11. 辻邦生「旅の終り」を読む (2)・・・小説の後半。「旅の終り」まとめ。</li> <li>12. 辻邦生「遠い園生」を読む (1)・・・「遠い園生」について。「私」の回想。</li> <li>13. 辻邦生「遠い園生」を読む (2)・・・「私」の現在。「遠い園生」まとめ。「旅の終り」と「遠い園生」の関わりについて。</li> <li>14. 志賀直哉と辻邦生・・・これまで読んできた両作家の作品を比較。辻自身が語る、志賀からの影響についても紹介。</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		